

浮世絵師

歌川国芳展

躍動する構図と写実力



〔坂田怪童丸〕大判錦絵 天保7年(1836)頃

2020年8月1日(土)~9月27日(日) ※会期中無休

開館時間:午前9時30分~午後5時30分(入館は午後5時まで)

入館料:一般1,000円(4枚セット券3,000円)/大学生800円/高校生500円/中学生以下無料

主催:公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム

後援:中日新聞社、読売新聞社、朝日新聞社、NHK津放送局、三重テレビ放送

監修:中右 瑛(国際浮世絵学会常任理事)

企画協力:株式会社アートワン


paramitamuseum

公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6 Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077

E-mail office@paramitamuseum.com <http://www.paramitamuseum.com>

Facebook www.facebook.com/paramitamuseum Twitter @paramita_muse

[パラミタミュージアム](#) [検索](#)

浮世絵師

歌川国芳展

躍動する構図と写実力



「朝比奈小人嶋遊」大判錦絵三枚続 弘化4-嘉永5年(1847-52)頃



「猫の当字 ふく」大判錦絵 天保末(1841-43)頃



「みかけハこハみがとんだい人だ」大判錦絵 弘化4年(1847)頃



「通俗水滸伝豪傑百八人之巻人 浪裡白旗張順」大判錦絵 文政11-12年(1828-29)頃

歌川国芳(1797~1861)は、幕末期に活躍した浮世絵師です。北斎、歌麿、広重などに代表される数多くの浮世絵師の中でも、型破りな表現で異彩を放っているのが国芳です。

寛政9年(1797)、江戸で紺屋(染物屋)を営む家に生まれた国芳は、幼少期より絵を得意とし、12歳で初代歌川豊国に入門したと言われています。はじめは不遇な時代を過ごしますが、30歳を過ぎたころ、「水滸伝シリーズ」の豪傑や、「本朝水滸伝シリーズ」の英雄たちを、ダイナミックかつ勇壮に描いた武者絵が大当たりとなり、「武者絵の国芳」として確固たる地位を築きます。そして国芳は武者絵だけでなく、戯画、美人画、洋風風景画など様々な画題に挑戦し、近代的感觉と豊かな発想で次々と新機軸を打ち出し、「幕末の奇才」と称されました。

本展では、国芳の出世作「水滸伝シリーズ」をはじめ、歴史物語や忠臣蔵、妖怪退治・幽霊、洒落とユーモアなど、多岐にわたるテーマの作品を代表作とともに約150点展示します。

この機会に躍動する国芳の世界をお楽しみください。



「讃岐院眷属をして為朝をすくふ図」大判錦絵三枚続 嘉永4年(1851)

次回展示のお知らせ 2020.10.2(金)▶11.29(日)

没後30年 須田剋太展 SUDA Kokuta MANDALA

～今、甦る、須田剋太ワールド 抽象・具象・書～

埼玉県生まれ育ち、戦中に関西に移り住んだ須田剋太(すだ・こくた/1906~1990)。世界の現代美術の動向と足並みをそろえるように、力強く、造形性豊かな抽象画を描き高い評価を得ました。「週刊朝日」に連載の司馬遼太郎「街道をゆく」の挿絵を担当したことも有名になりました。

今回は須田剋太の作品の全貌とともに、特集展示として「街道をゆく」の挿絵原画に司馬遼太郎の文章を交えて紹介します。

■お車をご利用の場合/○東名阪「四日市IC」より湯の山温泉方面へ約6.5km ○新名神「菟野IC」より約4km ■無料駐車場有り(普通車100台、大型バス駐車可)
■電車をご利用の場合/近鉄「四日市駅」より近鉄湯の山線にて約25分、「大羽根園駅」下車、湯の山温泉方面へ300m ■全館バリアフリー、車椅子常備



paramitamuseum

公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム 〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6
Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077 E-mail office@paramitamuseum.com
http://www.paramitamuseum.com Facebook www.facebook.com/paramitamuseum Twitter @paramita_muse

パラミタミュージアム 検索